

「1 月 6 日の部分日食観察 (3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

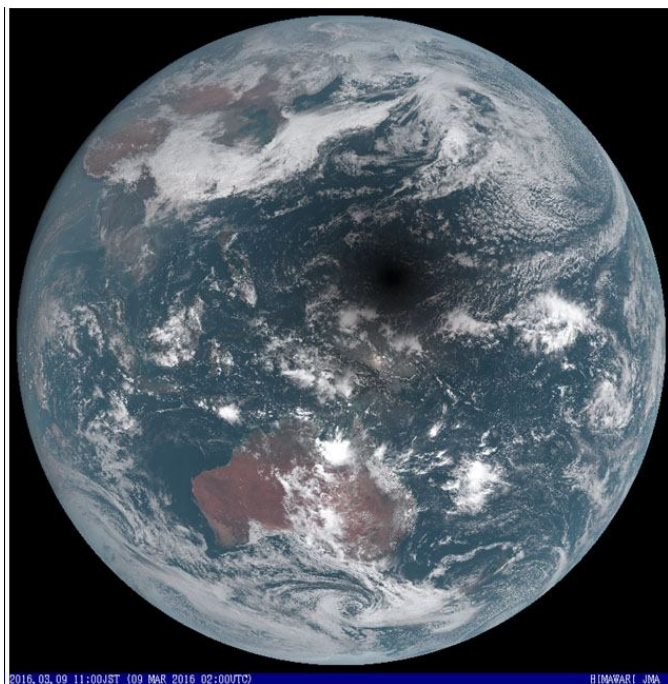
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

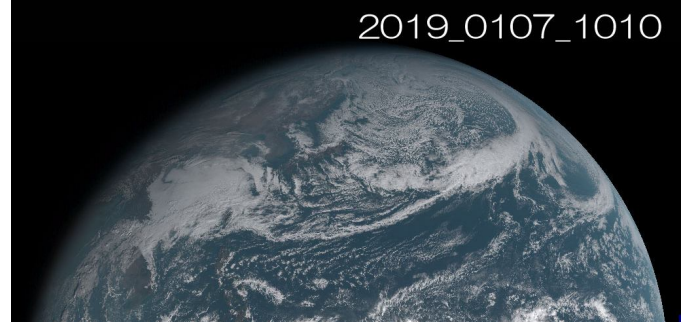
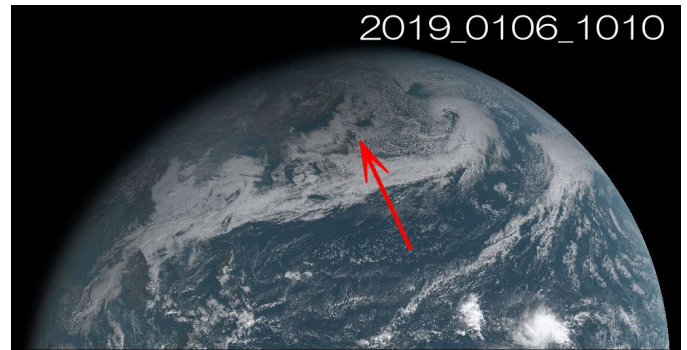
今回の部分日食では、月に隠された部分は、最大でも太陽光球の 29%に過ぎなかった。しかし、金環食の場合は 90%以上、皆既食の場合は 100%月に隠される。



写真は、2009 年 7 月 22 日に上海で起きた皆既日食の時の風景だ。この時私は、上海の友人宅に泊まり、さまざまな機材を持ち込んで「日食生中継」を試みていた。ところが残念なことに、上海は悪天候。しかし、皆既時には周囲が夜のように真っ暗になり、街灯が自動的に点灯した。面白かったのは、皆既日食時に上海中の自動車が、一時的に通行禁止になったことだ。



左下の写真は、2016 年 3 月 9 日に太平洋上で起きた皆既日食時の気象衛星写真だ。太平洋上に黒い影が見られ、中心ほど暗い。これが宇宙から見た「月の影」つまり「日食の正体」である。



今回の部分日食でも、この「宇宙から見た影」が見える可能性があると思い、当日の衛星画像を調べてみた。上が部分日食時、下が翌日の同時刻の画像である。部分日食時に、弧状列島付近に薄い影が確認できる。皆既食ほどではないが、やはり太陽からの光は少し減っていたことがわかる。



「食の最大」までどうやら持ちこたえていた天気も、10:30 頃から悪くなり、太陽も霞んでしまった。しかし、おぼろげに見える欠けた太陽も美しいものだ。